



明けましておめでとうございます。町民の皆様方におかれましては、輝かしい新春を、お迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、町政のさまざまな分野におきまして、皆様の温かいご理解とご協力ならびにご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年3月発生しました東日本大震災は、自然の脅威をまざまざと見せつけ、わが国にとって未曾有の災害をもたらしました。今でも被災地の様子がテレビ等で毎日のように報道されております。被災された皆様方に心からお見舞い申し上げますと共に、1日も早い復旧、復興を願うものでございます。

また、世界的金融危機を発端とした国内景気の急速な悪化は一向に回復の兆しは見えず、加えて、雇用情勢の悪化、円高の影響等、今後ますますに厳しい状況が続いていくのではないかと思われます。

そのような中ではありましたが、当町におきましては、住環境の整備を始め、各種道路網の整備など、まだまだ十分ではありませんが、一定の成果を挙げることができました。

特に、下水道事業につきましては、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業(飯野・津森校区)により、事業の推進を図っているところでございます。平成24年度末には普及率91%に達する見込みです。

また、昨年、コンビ二を活用した

証明書交付の運用を開始いたしておりますが、本年3月からは、従来の住民票の写しの発行に加え、戸籍等の証明書の発行を開始する予定でございます。これにより、さらに、より質の高い行政サービスを提供できるものと思っております。

企業誘致につきましては、大手半導体・液晶製造装置メーカーの大日本スクリーン製造㈱が、昨年6月に進出計画凍結解除に踏み切りました。今後の企業誘致にさらに弾みがつくものと思えます。

さらには、以前から計画等がありました飯田山山頂および潮井水源の整備につきまして、昨年ワークショップを終え、本年から本格的に取り組んでまいります。

今後は、「誇り」「しあわせ」「愛」のあふれるまちづくりを理念とし、将来、水とみどり豊かで人安らぎ、「夢」が創造できるまち、さらにはみんなの笑顔と愛情あふれるまちを目指し、子どもからお年寄りまでみんなが安心して暮らせる「日本一住みよいまち」の実現に向け、「今が今生懸命」職員一丸となって、さらなる工夫と努力を重ねてまいりる所存でございます。わが故郷益城町発展のため、皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が、皆様方にとりまして幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

日本一住みよいまちの実現をめざして

益城町長

住永 幸三郎

